

千葉県における海洋再生可能エネルギーによる 産業及び地域の振興に係る今後の方向性について(概要)

平成26年6月から4回にわたり有識者による「千葉県海洋再生可能エネルギー導入可能性研究会」を開催し、海洋再生可能エネルギーによる地域の活性化について様々な角度から検討し、以下の点を研究会の共通認識として取りまとめた。

1 千葉県において海洋再生可能エネルギーの活用が期待される理由

三方を海に囲まれた千葉県では、海洋再生可能エネルギーの適地とされる海域が海岸線に近接して存在するなど、**国内屈指のポテンシャル**を有している。

また、海洋再生可能エネルギーの導入は、**地域の活性化に向けた起爆剤**となる潜在力を有している。

2 千葉県沖において有望とされるエネルギー種

洋上風力発電及び波力発電が有望とされる。

3 適当とされる海域の考え方

洋上風力発電については、風速が毎秒7.0m以上の海域が適地とされている。一方で以下の状況等が見受けられる海域は回避することが望ましい。

- そこでなされている漁法等から海洋再生可能エネルギーとの共存が難しいところ
- 通信ケーブルが設置されるなど海底の状況から導入が困難なところ
- 海上交通の輻輳しているところ
- 自然環境や景観に与える影響が大きいところ

等

4 海洋再生可能エネルギーの活用に向けて必要となる取組 県や市町村に求められる役割は大きい

- ① 千葉県沖における**ポテンシャル**を調査し対外的に発信
- ② 地域における合意形成の**主体的な調整**
- ③ 市町村や事業者による取組に対する支援
- ④ 地元や事業者等の理解の促進
- ⑤ 事業化に当たって生じる様々な課題への対応
- ⑥ 全国的な共通の課題について関係者間の**知見の共有・連携した対応**
- ⑦ 海洋再生可能エネルギーの導入に向けた**継続的な取組**

5 地域との合意形成に際しての留意点

海洋再生可能エネルギーの実現に際しては、**地域との合意形成が重要**。事業内容を**地域とともにゼロから作り上げていく**といった形が望ましい。

- ① 事業者からの**丁寧な説明**。地域が抱える不安や心配について一緒に考えていくといった姿勢
- ② 地域側における**主体的な検討**の姿勢
- ③ **幅広いメンバー**からの意見
- ④ **議論の透明性の確保・互いの信頼関係の構築**
- ⑤ 関係者が**相互にメリットを共有**する形
- ⑥ 沿岸域を含めた**広域的な視点**を持った検討

6 海洋再生可能エネルギーの活用による将来像

国内屈指のポテンシャルを有する千葉県においては、地域での信頼を積み重ねていくことにより、**地域や事業者が最大の応援団**となり、将来的には、地域と共存した形での世界でも有数の大規模ファームの実現も夢ではない。